

三井住友海上火災保険株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
☎ 03-3259-3111（代表）
www.ms-ins.com

2026年7月22日

～工場設備の異常を早期に検知し、工場火災の未然防止を支援～
「SafetyConnect ～企業火災予防 IoT～」を提供開始

MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：海山 裕）は、工場火災の未然防止を目的とした IoT 活用型火災予防ソリューション「SafetyConnect ～企業火災予防 IoT～」を「補償前後のソリューション」※¹の1つとして、本日より提供開始します。

当社は、本ソリューションの提供を通じて、工場設備の異常を早期に検知することで、工場火災の未然防止や、持続可能な製造体制の構築を支援していきます。

※¹：事故を未然に防ぐ「予防」や事故発生後の回復を支援する「リカバリー」の価値を提供するソリューションです。
詳細はオフィシャルサイト（[補償前後のソリューション](#)）をご参照ください。

1. 背景

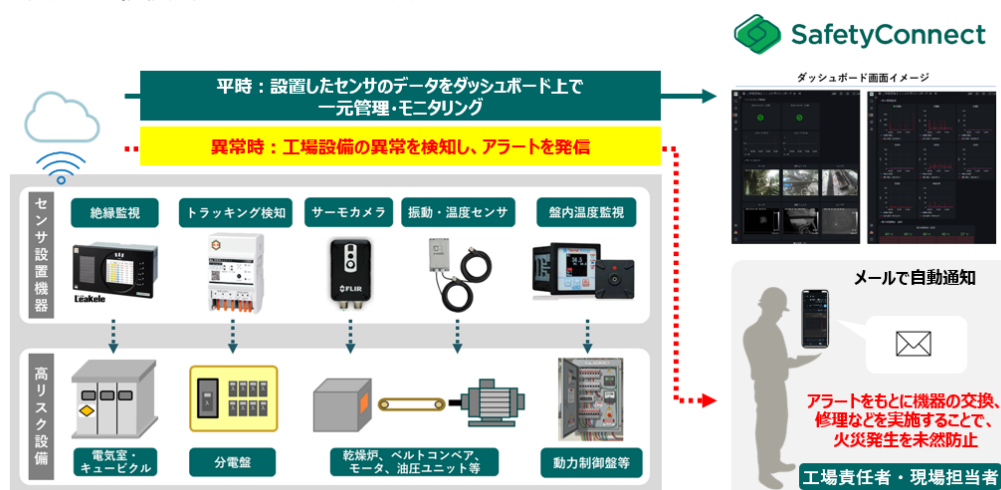
国内の製造現場では、高度経済成長期に導入された設備の老朽化に加え、人手不足により保守点検や巡回体制の維持が難しくなっています。その結果、工場火災が多発しているのが現状です。一度工場火災が発生すると、操業停止による多大な経済損失やサプライチェーンへの影響は避けられません。

このような背景から、2024年3月から2025年12月にかけて、本ソリューションの有効性を検証する実証実験を行いました。実際に、目視では検知困難なブレーカーの電気不具合やベルトコンベアのベアリングの異常発熱を早期に検知し、工場火災の未然防止に効果があることを確認しました。

2. ソリューション概要

工場火災の原因となり得る分電盤やベルトコンベアなどの工場設備にセンサを設置し※²、温度や電流値・漏電などを常時監視します。取得したデータは、ダッシュボードで一元管理し、あらかじめ設定した基準値を超える異常を検知した場合は、工場責任者などの関係者にメールで通知します。

※²：当社が紹介する接続認証センサに限ります。



3. 今後の展望

当社は、工場設備の異常を早期に検知することで、お客さまによる機器の交換や修理などの対応を促し、工場火災の未然防止に取り組めます。また、将来的には、得られたデータに基づく保険引受や新たな商品・サービスの提供を目指していきます。

なお、2027年4月に予定しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との合併後も、本ソリューションの継続提供を予定しています。